

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.51

2019.12

Contents

同窓会会長挨拶・同窓会役員……………	2
校長挨拶 ……………	3
活躍する卒業生……………	4
同窓会だより……………	5~7
母校だより……………	8
活躍する部活動……………	9
令和元年度 創立記念式典、 並びに創立記念日講演会 開催報告 ……	10
地域で活躍するビジネス科……………	10
会計報告 ……………	11
進学・就職実績……………	12
事務局だより……………	12



同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同級生の皆様、一年間のご無沙汰でした。いかがお過ごしでしょうか、お伺い申し上げます。

平素より勝山高校、勝山高校同窓会に対し、多大なご支援、ご協力を賜わっておりますこと、改めて心よりお礼申し上げます。

時代は平成から令和へと変わりました。この同窓会会報も記念すべき令和第一号になります。皆様のご援助のおかげで回を追うごとに紙面も充実してまいりました。更により多く各地の同窓生のご活躍や各支部の活動をご紹介できるように紙面づくりに努めてまいります。

平成30年の西日本豪雨災害の記憶も生々しいところに、令和元年も全国で自然災害が多発し、大きな被害をもたらしました。勝山高校の同窓生の皆様は全国各地で活躍されているので、被災された方もおられるのではと、案じております。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて前号の会報で何年か振りに定員が充足したことをご報告しましたが、残念ながら平成最後の入学生は定員を割ってしまいました。合併当時には54,000人程あった真庭市の人口も現在45,000人余り。毎年600人以上ずつ減少している中、子供達の数は更にそれを上回る勢いで減っております。県内の大半の高校が定員割れという状況の中、致し方ないところもありますが、これから始まる高校再々編が勝山高校にとってより望ましい方向に進むためには勝山高校の良さを更に伸ばしていくとともに、その良さを広く地域の皆様知って頂き、この地域にとって必要不可欠な存在であることを認識して頂くことが必要です。そうすれば自ずから志願者も増えて行くものと思います。特に地元の同窓生の皆様には率先して応援、ご協力をよろしくお願いいたします。

また令和3年には勝山高校はめでたく創立110周年を迎えます。令和元年11月には記念事業準備委員会も立ち上がり、これから案を練ってまいります。もちろん100周年のように大々的なものではありませんが、教職員の皆様、在校生、PTAの皆様と共に母校の誕生日を心を込めてお祝いしたいと思います。その節には例によって、同窓生の皆様には物心両面でのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに皆様のご健勝とご多幸、母校勝山高校の益々の発展をお祈りしご挨拶いたします。

同窓会役員

役名	氏名	卒期
顧問	中島 道夫	中15
顧問	近藤 正美	中19
会長	山下 豊	高20
副会長	松浦 征護	高14
副会長	太田 詳子	高17
副会長	三船 昌行	高17
副会長	岡田 健	高17
副会長	宮島 敦子	高27
副会長校長	影山 勝己	
監事	加納 容子	高17

役名	氏名	卒期
監事	近藤 英幸	高19
会計事務長	平岡 明子	
東京支部長	畑 博道	高21
岡山支部長	内山 満義	高22
関西支部長	木村 康雄	高17
津山支部長		
鳥取支部長	山藤 輝彦	高3
島根支部長		
川上支部長	徳山 周一	高25
落合支部長	道満 祥雄	高19

役名	氏名	卒期
勝山支部長	結家 恭一	高13
大佐支部長	金平 敏数	高13
中和支部長	由井 堅史	高30
美甘支部長	池田 文治	高20
新庄支部長	坂本 茂樹	高27
八束支部長	小谷 仁志	高30
久世支部長	石村 修	高30
月田支部長	植田 浩史	高27
富原支部長	久重 俊正	高8
湯原支部長	山谷 逸士	高16



校長

影山 勝己

ごあいさつ

同窓生の皆様には、ますますご健勝で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。母校勝山高校発展のために多大なご支援とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

おかげをもちまして勝山高校の教育活動も順調に進んでおり、生徒たちは落ち着いて勉強や部活動などに一生懸命に取り組んでいます。これも保護者や同窓生をはじめ地域の方々の勝山高校に対する変わらないご支援のお蔭と感謝いたしております。

しかし、少子化の波は当地域も例外でなく、平成23年・25年に行われた高校再編整備により真庭地域に4つあった高校（勝山・落合・久世・蒜山）が勝山高校（勝山・蒜山）と真庭高校（落合・久世）の2校4校地体制になり、現在に至っています。そうした中、勝山高校は真庭地域の拠点校として地域の信頼と期待に応え、「生徒が行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」を目指して日々の教育活動に取り組んでまいりました。

近年は教員志望の生徒が比較的多くいるということもあり、「高校段階から教員を目指す人材の育成」をテーマとして「おかやま創生 高校パワーアップ事業」の研究に取り組んできました。この事業は昨年で終了しましたが、本年度も、県の総合教育センターで実際の教員研修の様子を見学したり、夏休みなどに小学生への学習支援活動を行ったりするなど、研究の成果を生かし、地域の方々に支えられた学習活動に積極的に取り組んでいます。このような活動は各方面から高い評価をいただいております。将来、地域を支える人材として大きく育っていくことが期待されています。

さて、皆様もご存知のとおり、勝山高校では平成23年に記念すべき創立100周年記念式が盛大に挙行されました。それから10年近くが経ち110周年を迎えようとしています。100周年ほどの盛大なものは予定していませんが、学校では現在記念事業等の準備を進めています。準備が整いましたらあらためてご案内申し上げますので、その際にはご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様には、今後とも母校への深いご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、平成元年3月卒業の皆様方です。
ご協力よろしく申し上げます。

日時 2020年8月9日(日) 11時より

場所 勝山高校同窓会館

懇親会 12時より **会場** 勝山文化センター

お知らせ

令和3年10月

110周年記念式典 挙行 (予定)

ご支援ご協力をよろしく申し上げます。

活躍する卒業生



Hiromichi Makino

楨野 博通

高39回生(昭和63年卒)
働天満屋

「コーポレート部門人事
チームリーダー」

私が勝山高校を卒業したのは昭和63年3月ですので、昭和最後の卒業生ということになります。また令和元年が50歳ということになりますので、元号と人生の節目の不思議な縁を感じています。この夏には、同窓会が開催され、久しぶりに旧友と楽しい時間を過ごすことができました。

高校時代の思い出は色々ありますが、硬式野球部での思い出が一番印象に残っています。春から秋までは、ほぼ毎日練習か試合でしたので、1年生の時は心身ともに辛く、辞めたいと思ったこともありましたが、何とか最後まで頑張ることができました。就職後に忙しくて休みが取りにくかったり、体力的に厳しく感じたりする事があっても、あの時に比べれば…と思う事も時々あり、心も身体も成長させてもらった3年間だったと感謝しています。3年生の夏の大会は2回戦で負けてしまいましたが、今でも夏になると勝高野球部の結果をネットで見るのを楽しみにしています。機会があれば直接応援に行きたいと思っています。

高校卒業後は進学や仕事の関係で15年ほど岡山を離れておりましたが、2003年

に岡山勤務となり、以来岡山に居を構えて生活をしています。入社後は、営業やスタッフ業務を経験した後に、現在はコーポレート部門(本社)で人事の業務を担当しています。人事企画や教育、採用などが主な業務内容になりますが、最近採用で自分の子供と同年代の学生と就職の話をするようになりましたので、自分も年を取ったなど実感させられます。人事は、今後会社を支えていく人材の採用や教育に関わる部署ですので、責任が重い部分もありますが、若手の成長や頑張りを感ずることの出来る部署ですので、やりがいも感じています。

また、昨年から人事と兼務という形で、女子陸上競技部の事務局を担当しています。今年は東京オリンピックの内定獲得や世界陸上での入賞など、選手が結果を出してくれているので、来年の東京オリンピックに向けて地域の皆様からの期待も高まっています。事務局として選手・スタッフを出来る限りサポートし、良い結果に繋がるようにしたいと考えています。皆様も応援よろしく願いいたします。

私の家は代々勝山高校にお世話になっています。祖母の時代から、母、私、姪っ子。そのうちに、私の娘も?と、想像しています。

私が通っていたころには、丁度3年生のころに校舎の建て替えとなり、プレハブの中で授業を受けていたことが印象に残っています。そして、新しい校舎での最初の卒業生となりました。高校時代は、新たな仲間も出来、それまでの湯原という小さな世界だけでなく、違った刺激を受けながら楽しく過ごすことが出来ました。

卒業後はアメリカに留学し、英語でのコミュニケーションを勉強してきました。兄が先に留学していたことをきっかけに、英語でのコミュニケーションに興味を持ち、留学を決意しました。海外での生活は心の成長に

も繋がったと今は思います。

そして、学生時代には想像もしていなかった、旅館業を継ぐことになり、今は女将として旅館を切り盛りしています。近年では海外からのお客様も増えてきているので、当時の経験はとても役に立っています。当時は地元に戻ることに抵抗感もありましたが、やるからには楽しく!やりがいも感じながら、頑張っています。

生まれ育った地元でお商売をさせていただいているお陰様で、勝山高校OBの方々にも可愛がっていただいております。これからも人と人のつながりも大切にしながら湯原温泉を盛り上げて頑張っていきたいと思っています。



Rie Takekata

武方 理愛

高47回生(平成8年卒)
湯原温泉 湯快感花やしき
女将

同窓会だより

本部総会・懇親会報告 牧 邦憲 高39回(昭和63年卒)普通科代表

「令和の同窓会」

昭和63年3月、私は岡山県立勝山高等学校を卒業しました。東京の大学へ進学した1年生の冬に昭和から平成になりました。1つ下の学年に弟がおり卒業は平成元年でしたので、自分が昭和最後の卒業生だと思ったのを記憶しています。私はその後勝山に帰り就職しましたが、当時は勝山高校に対して卒業した高校という程度の認識しかありませんでした。しかし、故郷での生活の中で母校の先輩や後輩たちと触れ合うにつれ、勝山高校は単に私が卒業した高校というだけでなく、勝山高校の長い歴史の中の一時期を過ごさせてもらっていたのだと思うようになりました。我々が過ごした3年間もそれまでの先輩方が築き上げてきた歴史の一部であり、我々も含め多くの後輩や先輩たちの歴史が今の勝山高校を支えているのだと、今では思うようになりました。

そして32年前に卒業した我々も50歳になる年を迎え、勝山高校同窓会の幹事を任される年になりました。数年前から地域や職場の先輩から当番幹事の大変さや楽しさなどをお聞きしており、何をすれば良いのだろうかとかモヤモヤとした不安な気持ちでいましたが、改めて当番幹事としてやるべき内容を聞き、その大変さを痛感しました。まして、普通科の代表を任された時には、何が出来るだろうか?という不安で一杯になりました。

そして、懇親会の準備が始まりました。地元に残る友人と定期的に集まり、懇親会の内容を話し合いました。今思うと、それまでは地元で会っても話をする程度であった友人たちとの時間がとても楽しい時間であったと思います。30歳でも60歳でもなく50歳という年齢は、私たちの子供たちがちょうど高校生になる年齢です。実際に私の子供も2人勝山高校にお世話になっていたり、友人の子供たちも勝山高校に通ってたりしており、昔話と今の勝山高校の話に花が咲きました。

5月には平成から令和へ時代が移り、昭和最後の卒業生である我々が平成を挟み、令和最初の勝山高校の同窓会を任されることになった8月11日がやってきました。当日は、午前中勝山高校において総会がありました。当番幹事から数名が参加し会場準備や受付などを行いました。初めて同窓会の活動を知りました。多くの先輩方が今

の勝山高校を支えてくださっていることを知り、保護者でもある私としては改めて役員の皆様のご苦勞に感謝いたしました。

その後、会場を勝山文化センターに移し懇親会が行われました。ここからが友人たちと1年間準備を重ねてきたイベントです。当日は来賓の太田市長をはじめ、約20名の役員先輩方、前年度と来年度幹事の皆さんが参加してくださいました。そして、我々の同窓生も約60名が参加し手伝ってくれました。

懇親会は勝山喧嘩まつりの鐘と太鼓で始まり、来賓あいさつなどの後、懇親会のメインであるダンスが始まりました。練習開始当初は皆嫌がっていましたが、徐々に練習に参加してくれる友人も増え、6名の50歳ダンサーが「USA」を踊りました。盛り上がりをお心配はしていましたが、少なくとも我々の同級生達はとても盛り上がっていたように思います。来賓の方や先輩方には失礼もあったかと思ひますことを、お詫び申し上げます。

懇親会は2時間で閉会し、先輩方をお送りした後、我々昭和63年同窓生の同窓会が始まりました。3年当時の担任の先生にお声掛けしたところ2名の先生が来てくださり、先ほど無事懇親会が終了したことや、懐かしい同級生と久々に会えたことで、とても楽しい時間を持つことが出来ました。終わってみるといい機会をいただいたという気持ちと頼まれてももうやらないという気持ちでおりますが、50歳という節目にこうした機会をいただいたことは本当に有難かったと思います。

最後に、少子化により生徒数も減少しており、教育も昔とは比べ物にならないほど変化しているように思います。昭和63年卒業生一同勝山高校の末永い発展を願っております。



東京支部総会・懇親会報告

井上 光一 高33回(昭和57年卒)

6月15日(土)勝山高等学校同窓会東京支部総会・懇親会を今年も『とっとり・おかやま新橋2階』のイベントスペースをお借りして開催いたしました。当日は山下豊同窓会会長、母校から影山勝己学校長と松尾幸恵先生が遠路ご臨席くださり、あいにくの雨模様でしたが総勢37名の盛大な会となりました。

この1年で亡くなられた方のご冥福をお祈りした後、総会では、まず山下会長のご挨拶、影山校長の祝辞を賜りました。今回は事業報告の後、畑様(昭和45年卒)から井上光一(昭和57年卒)への東京支部長交替が発表されました。“畑支部長、4年間お疲れ様でした!”(なお、役員の見直しも提案され、検討されることになりましたことを併せてご報告いたします。)

引き続き、大前様(昭和32年卒)の乾杯の音頭で懇親会がスタートいたしました。毎年、山下会長から故郷の美味しいお酒・ワインなどをご提供いただきありがとうございます。故郷の美味しいお酒や料理とともにそれぞれの楽しい思い出話や近況報告に華を咲かせ、松尾先生からは勝高の近況報告をいただきました。小間様(旧姓:藤本様、昭和35年卒)の詩吟や岡田様(昭和31年卒)のご趣味の写真も披露され、梅林様(昭和20年卒)の楽しいお話をいただいたのち、参加者全員で校歌を歌いました。最後に松田顧問(昭和28年卒)の締めのお言葉をいただき、皆様の健康と来年の再会を約束して閉会いたしました。

今回、初めて参加された方も数名いらっしゃり、来年度以降も多くの方が「参加したいなあ」と思っただけりよう、また継続していけるよう、いわゆる若手が会を引っ張って楽しい集まりにできたらと思っております。皆様のご理解とご支援をいただけるよう宜しくお願いいたします。



関西支部総会・懇親会報告

山本 一幸 高16回(昭和40年卒)

令和元年5月26日(日)新元号のはじまりにふさわしい五月晴れのもと、新大阪ワシントンホテルプラザにて、

勝山高等学校同窓会関西支部の第63回総会並びに懇親会が開催されました。

司会を岡田知泰氏(昭和56卒)が務め、会の開催に先立ち、この一年間に亡くなられた同窓の方々のご冥福をお祈りし黙祷を捧げました。

はじめに木村康雄支部長(昭和41卒)の開会挨拶と、ご来賓のお客様方の紹介がなされ、議事次第に準じ昨年一年間の活動報告と決算報告及び予算提案と監査報告を受け、それぞれを承認し総会を終えました。

つづいて、ご来賓の山下豊本部同窓会長(昭和44卒)、園田哲郎副校長、前田竜一先生(平成元卒)、入江京子先生(昭和56卒)、佐田晃彦先生(平成20卒)、梶谷隆行岡山県大阪事務所長の方々からご挨拶をいただきました。

主な内容は、真庭市の人口減少問題、新入生の定員割れがあったものの普通科3ビジネス科1を確保出来たこと、災害復興の中観光を強化する、等々ご挨拶とご祝辞をいただきました。

二部の懇親会に移り、サッカー部の石田伸行先輩(昭和37卒)の乾杯の音頭で祝杯し、冷やされた御前酒と料理に舌鼓みを打ちながら、和気あいあいの同窓の宴が始まり、あるテーブルでは部活の話が出て、この方は新庄中学の卓球部の先輩で美作は常勝やし団体は県優勝し全国大会に行ったんよ!すげーなーわしも卓球部やで!私も!あの方も!と、次々と卓球部が名乗り出て、大いに共感し盛り上がっていて、この同窓会ならではと再認識いたしました。

お楽しみのビンゴゲームとなり、この会のビンゴマスター大坂茂道さん(昭和47卒)の音頭と流暢なビンゴトークで一気に盛り上がり、リーチはまだなの!何でやるーあと一つがそろわんわ!とか言っている間に、次々とリーチ!リーチ!ビンゴ!ビンゴ!が成立し、準備した景品の「湯原カステラ」「落合羊羹」「御前酒」等々と、山下会長さんご厚志のお土産も提供され、みなさんに景品が当たることになりました。

つづいて、恒例の勝高関西応援団による演舞の披露となり、今年新たに西田智全さん(昭和57卒)が快く入団してくださり、司会の岡田知泰さんと、福富茂樹さん(昭和56卒・今年は所用で欠席されました)私とで、未だ熟していませんが、一茶の『模写USAと勝高名物三々七拍子』を演じ、母校の在校生と全ての同窓生に元気よくエールを送ることが出来ました。

まだまだ名残惜しいところでしたが、菱川鉄也副支部長(昭和47卒)の閉会の挨拶の後に、全員笑顔で記念撮影を撮り再会を約束し散会となりました。

余談ですが、過日に『国分太一氏のお散歩ジャパン』が真庭市を舞台に放映され、城下の町並み保存地区、雨垂れの苔滝から神庭の滝へ、その他「高瀬舟羊羹」「地ビール」「草木染織工房」「御前酒」等々の名所と産物が紹介され、それらは懐かしい私たちの故郷でした。ちなみに、和菓子の「玉垂れ」「丸太棒」「はんざき」等は私の父の作品です。

末尾ですが、関西地区にお暮らしの同窓生のみなさ

ん、一度もこの同窓会に出席されていない方もご出席くださった方も、お一人でも同期の友とご一緒でも良いですから、母校の窓と青春を共有した幅のある級友との親睦を深めるこの会へのご出席をお待ちしております。勝山高等学校の文化と伝統の継承にお力添えをお願い申し上げます。



岡山支部総会・懇親会報告

会長 内山 満義 高22回(昭和46年卒)

報告者 横山 寿 高33回(昭和57年卒)

3年に1度の勝山高校同窓会岡山支部総会・懇親会が、令和元年11月24日にアークホテル岡山で、本部から山下同窓会長様(昭和44卒)、三船副会長様(昭和41卒)、学校から影山校長先生、前田先生(平成元卒)、佐田先生(平成20卒)をお迎えして、会員と来賓をあわせて38名で開催しました。

総会は校歌斉唱の後、物故者に対する黙禱を捧げ、内山岡山支部会長と山下同窓会長の挨拶の後、議事に入りました。事業報告・決算報告の後役員改選が行われ、役員改選案が承認された後、事業計画(案)と収支予算(案)を審議、承認の後、総会が終了しました。

総会終了後、前回から始まった同窓生による講演会があり、「地域の企業の実践する地域創生」と題して、オーティス株式会社取締役相談役佐山修一様(昭和51卒)からの講演があり、地域愛あふれる講演を約60分間拝聴しました。



20分間の休憩後、松田副会長(昭和28卒)と影山校長先生の挨拶、佐山副会長(昭和26卒)の乾杯の発声により懇親会が始まり、ソプラノ歌手畑山かおり氏によるミニコンサート、代表者による近況報告、真庭名産のサバ寿司の抽選会が行われ、特に生で聴くソプラノの歌声には全員感銘を受けていました。

楽しかった懇親会もあっという間に定刻が過ぎ、最後に河邊副会長(昭和43卒)の閉会の挨拶で終了となりました。

今回会員宛の案内を約1,250通発送させていただきましたが、残念なことに回答が400通程度しかなく、2/3の会員様からはご返事をいただいております。次回の総会へは是非とも出席のご返事をいただきたいと思います。

湯原支部総会・懇親会報告

副支部長 横辺 由江 高34回(昭和58年卒)

令和元年6月21日金曜日、令和初めての勝山高校同窓会湯原支部の総会・懇親会が湯の蔵つるやにて開催されました。

同窓会本部より山下会長、太田副会長、岡田副会長のご臨席を賜りました。勝山高校からは影山校長先生、前田先生、佐田先生にお越しいただきました。佐田先生は平成21年卒の初参加で参加者の平均年齢を少し下げてくださいました。

議事は滞りなく終わり、記念撮影の後、全員で校歌斉唱。指揮者はもちろん太田詳子先生です。親、子、孫と一族何人も卒業生がおられる旅館での懐石料理に、参加者は皆大満足です。お酒の力も加わり大宴会となりました。最後は一本締めで終了しましたが名残は尽きずそのまま二次会へと向かいました。

湯原支部は総会・懇親会を毎年行っており、今年9回目をむかえました。年々若い方の参加が少なくなり、メンバーも変わりばえせず高齢化も進んでいます(笑)しかし、勝山高校を愛してやまない熱い方々ばかりです。節目の10回記念に一人でも多くの卒業生に参加していただけるように、支部長はじめ役員一同知恵をしぼっているところです。『湯原』にゆかりのある卒業生の皆様、来年はぜひ湯原温泉へお越し下さい。





修学旅行

6月4日(火)～7日(金)の4日間、2年生158名は東京コース132名、シンガポール26名の2コースに分かれて修学旅行に行ってきました。



東京コースは、「実地見学を通じて、広い視野や社会性を身につける」ことを目的としました。初日は、ディズニリゾートを満喫しました。2日目は、進路に応じて4コース

に分かれてコース別研修を行い、それぞれで貴重な体験と見学をすることができました。夜は希望に応じて、プロ野球観戦・お笑いライブ・劇団四季の3コースに分かれて楽しみました。3日目は、各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行い、最終日は横浜中華街で自由散策をして、帰途に就きました。

シンガポールコースは、「他文化に触れながら国際的視野を身につける」ことを目的としました。初日は、マライオン公園に行き、マリーナベイサンズの「光と水のシンフォニー」を見学しました。2日目は、現地大学生と班別自主研修を行った後、セントーサ島に移動し、島内を満喫しました。この日の宿泊は、ホテルとホームステイに分かれ、ホームステイは現地の各家庭に分かれて宿泊しました。最終日は日系企業を訪問した後、現地の学校で交流を行い、日本文化を紹介したり、準備していた出し物を披露したりして交流を深めることができました。夜はナイトサファリを見学後、帰国の途に就きました。現地の人々との交流を通して、異文化を肌で感じ、英語で積極的にコミュニケーションをはかる態度を養うことができました。



学校行事

第20回 鼓山祭



9月4日(水)～6日(金)に『本気×団結＝笑顔～勝高流絆の方程式～』というスローガンを掲げ、第20回鼓山祭が開催されました。

文化の部1日目には、書道部によるコミカルなパフォーマンス、美術部の大型作品の披露、吹奏楽部による華やかな演奏がありました。日頃の活動の成果を十分に発揮し、高校生らしく元気に、鼓山祭の幕開けを飾りました。午後からの有志による発表では、各団体がプロさながらのバンド演奏やダンスパフォーマンスを見せてくれました。自分たちの好きなものを存分に表現してくれていたのが、大変見応えがありました。文化の部2日目には、各団による演劇・ダンスが行われました。生徒たちは限られた準備期間の中で、道具や衣装づくりまで工夫を凝らし、一生懸命に発表をしていました。自分たちで企画をし、作り上げていくのは大変だったと思いますが、それぞれ味のある作品になっていたと感じました。また、2日間通して行われた展示では、様々な写真スポットから、ゲームの世界を現実世界に再現したものや、科学実験コーナーなど、こちらもお客さんを楽しませる工夫がたくさん見られました。PTA・3年ビジネス科による模擬店も大盛況でした。

学校をあげての取り組みとしては、昨年度に引き続き、鼓山祭実行委員会を中心に全校制作に取り組みました。今年度は全校生徒に鼓山祭に向けての意気

込みを書いてもらい、集まった450あまりのメッセージカードを使って鼓山祭の“鼓”のモザイクアートを完成させました。赤・青・黄で彩られた全校生徒の魂は鼓山祭の象徴として体育館のステージに掲げられました。



体育の部では、連日の雨で開催が延期かと心配されましたが、当日は十分過ぎるほどの晴天で無事に実施できました。予行もままならない中での不安なスタートでしたが、生徒は一生懸命にすべての競技を行い、応援し、最後まで熱気に満ちた一日となりました。3年生によるフォークダンス、PTA・OB・OGの方々も競技に参加していただき、魅力あふれる体育の部になりました。

3日間の鼓山祭ではありましたが、事前の準備を含めて生徒は本当によく頑張ったと思います。リーダーとして集団をまとめたり、最高の選択は何かと葛藤したり、意見の衝突に柔軟に対応したりと、それぞれの役割を果たす中で、一人ひとり感じるものがあつたのではないかと思います。鼓山祭を通して成長した勝高生たちの、今後のさらなる活躍に期待したいと思います。



活躍する部活動

■ 書道部

勝山高校書道部は、現在女子10名で活動しています。活動日は週3日で活動内容は個人作品の制作やパフォーマンスです。個人作品では、公募展の作品や小作品、掛軸などを書いています。パフォーマンスは、新入生歓迎、鼓山祭、秋の中庭パフォーマンスの主に3回行っています。その他に外部から依頼が来ることもあります。

書道部は、互いに自分の意見を出し合って、納得がいくまで話し合いを重ね、部の運営や作品制作を行っています。共同制作を作り上げていく中でお互いの主張を受け入れ、作品をよりよいものにしようとさらに意見を出し合うことで自分たちのこだわりを生かした作品を作り上げられます。

書道の魅力は作品の制作過程を楽しむということだと思います。同じ言葉でも書風が違えば作品の雰囲気も変わってきます。自分が伝えたいことが上手く伝わるような書風を試行錯誤することが書道の魅力の一つだと思います。私自身は書道部の部長になって書道の技術に加え、計画性や部員をまとめる力が身に付きました。なかなか思うように書けない時が続くこともあるけれど、繰り返し練習を重ねることで書けた時の達成感を感じることもできました。

最近では書道部が活躍する場面も増えてきており、勝山高校書道部はまだまだ成長していくだろうと思います。

私たちの活動は、保護者や地域の方々のご支援によって成り立っています。応援してくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思っています。

今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。勝山高校 書道部長 乾 蒼生



令和元年度 部活動 主な成績

運動部

■ 軟式野球部

平成31年度春季岡山県高等学校軟式野球県大会 ベスト8
第58回岡山県高等学校総合体育大会軟式野球競技 第3位
第64回全国高等学校軟式野球選手権岡山県大会 出場

■ 陸上競技部

第66回美作地区高等学校総合体育大会 女子総合 第3位
第58回岡山県高等学校総合体育大会 女子4×100mリレー 準決勝進出(ベスト16) (柴田、古林、今石、松尾)

■ 女子バレーボール部

第66回美作地区高等学校総合体育大会 第4位

■ バドミントン部

第58回岡山県高等学校総合体育大会 男子団体ベスト16 女子団体出場

■ 水泳競技

第58回岡山県高等学校総合体育大会 兼 第87回岡山県高等学校選手権水泳競技大会 兼 第67回中国高等学校選手権水泳競技大会

岡山県予選会(倉敷市屋内水泳センター)

原田 大地
男子100m背泳ぎ 第2位(1:01.96)
男子200m背泳ぎ 第1位(2:12.89)
谷口 葉奈
女子50m自由形 第2位(27.60)
女子100m自由形 第2位(1:00.61)
第62回岡山県高等学校新人水泳競技大会
兼 第7回中国高等学校新人水泳競技選手権大会岡山県予選会(倉敷市屋内水泳センター)
谷口 葉奈
女子50m自由形 第1位(27.57)
女子100m背泳ぎ 第2位(1:06.23)
第67回中国高等学校選手権水泳競技大会(入賞)(山口きらら博記念公園水泳プール)
原田 大地
男子100m背泳ぎ 第10位(1:02.96)
男子200m背泳ぎ 第8位(2:14.38)
谷口 葉奈
女子50m自由形 第1位(27.04)
女子100m自由形 第4位(59.99)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(熊本市総合屋内プール)
谷口 葉奈
女子50m自由形 出場

文化部

■ 美術部

高校生美術コンクール
静物デッサン部門 銀賞 3年 大倉 未来
徳山大学イラストコンクール
佳作 3年 入澤 日奈子

■ 書道部

第35回成田山全国競書大会
特選・月輪賞 2年 桑井乃々子
四国大学第48回全国高校書道展
準特選 3年 山本 理子
四国大学第48回全国高校書道展
準特選 3年 西村 優花
四国大学第48回全国高校書道展
準特選 1年 山本 咲葉
第39回ふれあい書道展
特選 3年 山本 理子
第39回ふれあい書道展
特選 1年 山本 咲葉

■ 吹奏楽部

第60回岡山県吹奏楽コンクール
高等学校A部門 予選大会 銀賞

■ コンピュータ

全商ビジネス文書実務検定取得
全商情報処理検定取得

令和元年度 創立記念式典、並びに創立記念日講演会 開催報告

講師 澁澤 寿一 氏 真庭なりわい塾長、NPO法人共存の森ネットワーク理事長

10月4日（金）、本校体育館にて、山下豊同窓会長らご来賓や全校生徒の出席のもと、創立記念式典、並びに創立記念日講演会が行われました。影山校長が式辞で本校の沿革を紹介、校歌斉唱の後、講師に真庭なりわい塾長の澁澤寿一先生をお招きし、「自分でみつける『豊かさ』と『幸せ』の基準」という演題で御講演をいただきました。真庭のバイオマス事業に早期から関わられ、現在エスパス文化振興財団理事長もお務めになるなど真庭市に縁の深い澁澤先生にお話しいただき、大変貴重な機会となりました。講演では、南米エクアドルの現状などをもとに今の私たちの「普通の」暮らしがもはや持続可能ではないことを説かれ、地球を救う機会を持つ最後の世代ともいえる私たちが、「経済」「社会」「環境」の調和を図り、世界を変革する新しいライフスタイルを構築していかなばならないと熱く語られました。生徒の感想には、「私たちにツケが回り、そのツケが次の未来に…と考えると、自分達の生活に責任を持

たなければいけないと感じました。」「人の役に立ち、何が幸せなのかをデザインできる人間になっていこうと思いました。」という声が聞かれました。講演会の目的である「講演を聴くことで、高い志を持ち自ら課題を解決しようとする人材を育成する。」にまさにふさわしく、生徒の心に響く御講演をいただけたと思います。ちなみに澁澤先生は、令和6年から新紙幣一万円札の顔となり、また令和3年放映予定のNHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公である洪沢栄一の曾孫にあられる方です。



澁澤寿一氏のプロフィール

1952年、東京生まれ。東京農業大学大学院博士課程修了。1980年、国際協力事業団（JICA）専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴く。帰国後、1983年より「長崎オランダ村」「ハウステンボス」等の設立、経営に関わる。その後エクアドルなど各国でマングローブ林の復元と集落の持続可能な経営を目指す。NPO法人「樹木・環境ネットワーク協会」理事長として、日本や各国の環境NGOと繋がり、地域づくり、人づくりの活動を実践。地域の里山保全、奥山の環境修復、都市の緑地や公園のメンテナンスな

どを、NPO、企業、行政の協働で進める。「聞き書き甲子園」を主催し、マタギなど「森の名手・名人」の知恵を現代の高校生に繋ぐ活動を行う。NPO法人「共存の森ネットワーク」を設立し、現在は理事長。真庭なりわい塾、石徹白カレッジ、三方ソーシャルビジネスカレッジ各塾長。社会づくりでは、バイオマスを活用した地域づくり事業を手がけ、岡山県真庭市では1998年より「資源循環型事業連携協議会」会長、「真庭市バイオマス利活用計画策定委員会」委員などを務め「里山資本主義」の実現に携わる。「真庭バイオエネルギー株式会社」代表取締役。農学博士。

地域で活躍するビジネス科

ビジネス科では地域の方の力もお借りして学習し、卒業後に真庭地域を支える人材になるように頑張っており取り組んでいます。3年生では、町並み保存地区で開催される「クラフト市」に毎年参加しています。この活動を通して地域と連携し、幅広い体験をすることによって、視野を広げ、思考を深め、社会人基礎力を身に付けることが目標です。今年も「クラフト市」で販売する新商品のレシピを考え、勝山町並み保存地区にあるきくや菓舗に相談し、販売が出来るかどうかを検討してきました。最終的に特産品である青大豆のキヨミドリと、薬草としても用いられる「カワラケツメイ」を使った、お茶の「深山のかおり」を練り込んだ

団子が新商品になりました。商品化まで、プロの方とたびたび打ち合わせをする中で経験した、課題解決の取り組みは、生徒にとって大きな財産になったと思います。また、1年生は「勝山もみじ祭り」で販売実習とソーラン踊りに参加し、2年生はインターンシップ実習や神庭荘を訪問し貴重な経験ができました。

このような活動を通して、地域との連携を今後も継続していきたいです。また、ビジネスマナーや資格取得にも力を入れており、簿記や情報処理などの検定資格を数多く取得しています。同窓会の皆様にご子息、お孫さんがおられましたら、是非とも、勝山高校ビジネス科を薦めていただきますよう、宜しくお願いいたします。

会 計 報 告

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減 (△)	摘 要
繰 越 金	933,669	933,669	0	平成29年度からの繰越金
生 徒 入 会 金	800,000	785,000	△ 15,000	生徒入会金5,000円×157名
雑 収 入	331	58,733	58,402	会員寄付・会員名簿・預金利息 等
合 計	1,734,000	1,777,402	43,402	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流 用 額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
広 告 費	50,000	0	50,000	43,740	6,260	同窓会本部総会広報用
旅 費	180,000	0	180,000	133,185	46,815	支部総会出席旅費等
会 議 費	100,000	0	100,000	72,900	27,100	支部会議費出席会費
慶 弔 費	40,000	0	40,000	0	40,000	役員等慶弔費
通 信 費	30,000	0	30,000	10,880	19,120	郵送料
助 成 費	250,000	0	250,000	190,000	60,000	各支部助成金
需 用 費	100,000	0	100,000	88,295	11,705	消耗品購入費等
予 備 費	984,000	0	984,000	0	984,000	
合 計	1,734,000	0	1,734,000	539,000	1,195,000	

収入済額 1,777,402－支出済額 539,000＝残額 1,238,402 (令和元年度へ繰越)

平成30年度
同窓会会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減 (△)	摘 要
繰 越 金	1,967,544	1,967,544	0	前年度からの繰越金
賛 助 金	2,068,000	2,089,000	21,000	738件
雑 収 入	456	0	△ 456	
合 計	4,036,000	4,056,544	20,544	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	流 用 額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
賛助金振込手数料	104,000	0	104,000	86,860	17,140	
会報発行費	1,559,000	125,000	1,684,000	1,673,433	10,567	
口座振込手数料	1,000	0	1,000	648	352	
予 備 費	2,372,000	△ 125,000	2,247,000	0	2,247,000	
合 計	4,036,000	0	4,036,000	1,760,941	2,275,059	

収入済額 4,056,544－支出済額 1,760,941＝残額 2,295,603 (令和元年度へ繰越)

上記のように、このたびも会報に多額の協賛金を頂戴しました。皆様のご温情に心より感謝いたしております。賛助金のおかげで今回もページ増で、活字も大きくした形でお届けすることができました。年に一度の会報ではありますが、今後とも変わらぬご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



1年 もみじ祭り



3年 クラフト市



勝山高校35会同窓会

